

STOP！人口減少

3309 柿崎 快晴



湯沢の課題

- ・熊による人身被害
- ・少子高齢化
- ・後継者不足
- ・街に活気がない
- ・人口減少(若者の市外流出)



特に人口減少(若者の市外流出)に危機感を持った

人口減少＝湯沢市存続の危機

現在の人口の約半分！

湯沢市の人口推移



【2020年】

総面積 (km ²)	791
人口密度 (人/km ²)	53.2

平均年齢 (歳)	55.1
----------	------

昼夜間人口比率 (%)	100.9
-------------	-------

※昼夜間人口比率のみ2015年時点

※図中の点線は前回2018年3月公表の「将来人口推計」の値

GD Freak! 参考
© jp.gdfreak.com



**大きなアクション
が急務だ！**

提言 湯沢市に大学設立

①高校卒業後の県外流出をふせぐため

→大学進学にしたい人は、必ず湯沢市から去ってしまう現状を止めたい



提言 湯沢市に大学設立

②廃校を有効活用したい

→使わないともったいない。(現在
6校の廃校がある)



提言 湯沢市に大学設立

③湯沢でしか学べないことがあるから

→全国的に珍しい物や文化がある

(お酒、米、農業、伝統工芸品)



大学設立による市内への経済効果 (弘前大学)

■ 弘前市内への効果

① 生産誘発額

《直接効果》

《生産誘発額》



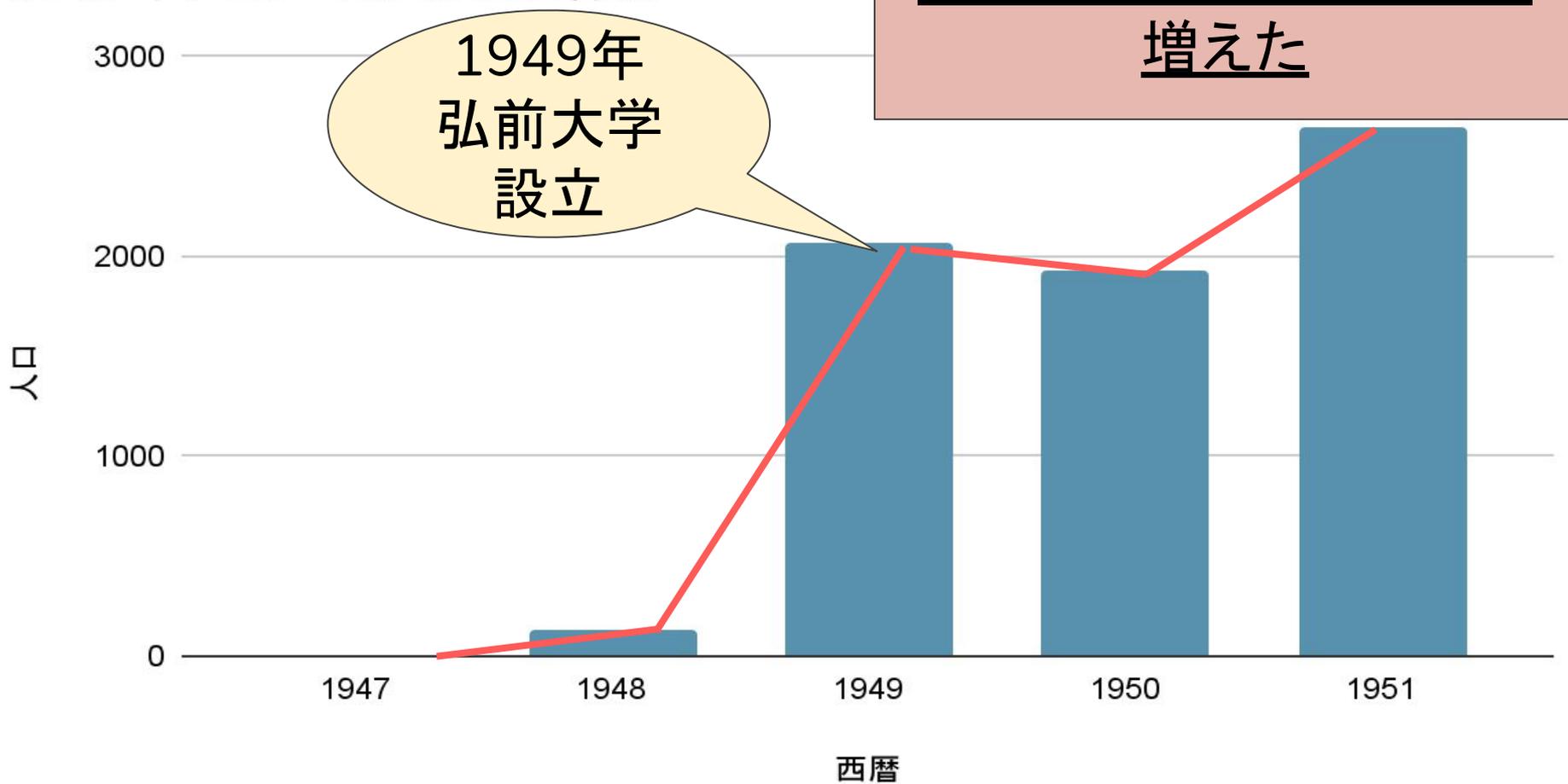
- ・ 市内の効果は県内の効果 407 億円の約6割の264億円。
- ・ 市内の産業では、不動産や商業など消費により大きく波及効果が現れる業種や食料品や二多額の生産誘発効果も

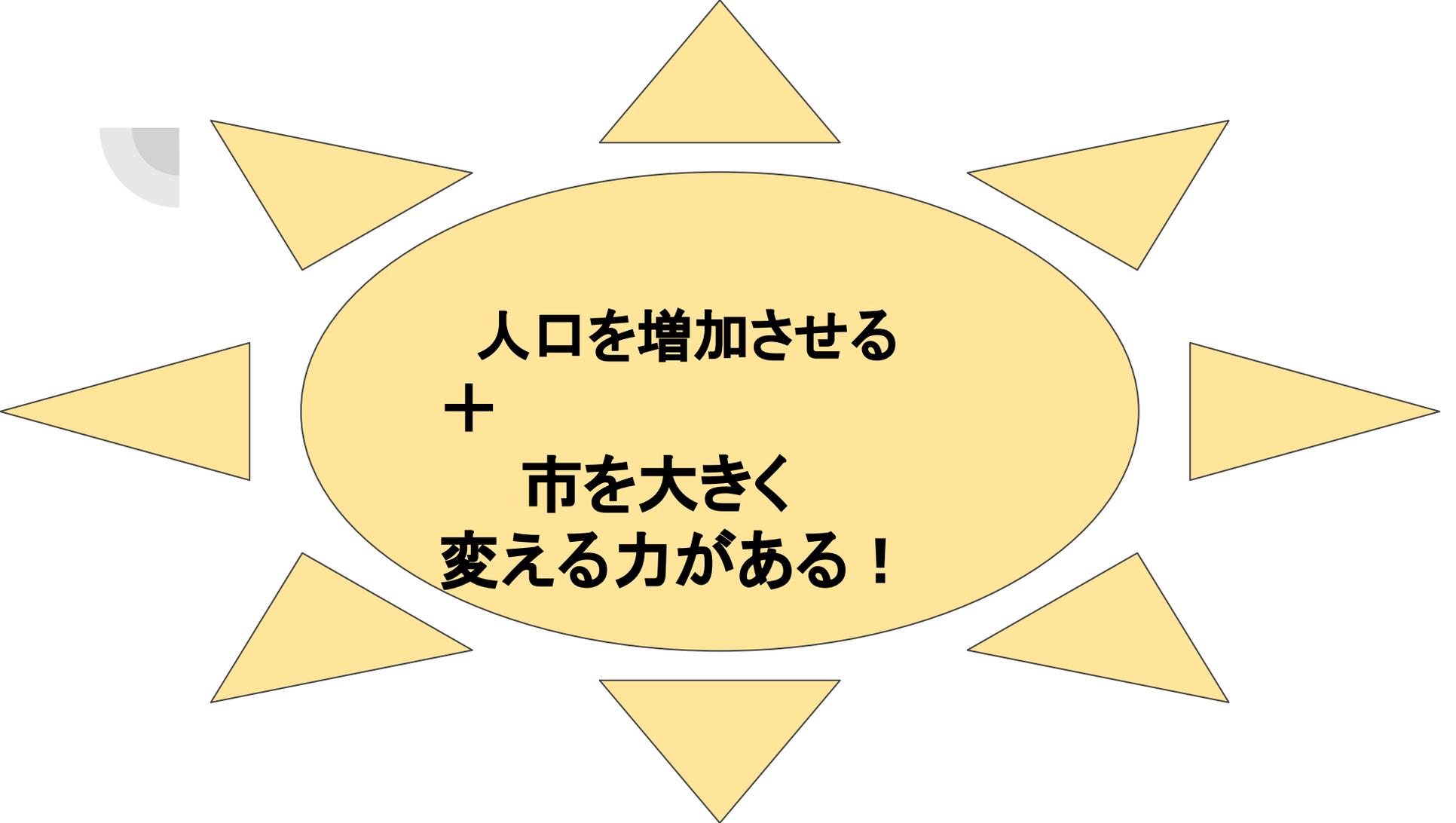
(大学全体 生産誘発額)》

4.3 億円 (16%)	
3.3 億円 (12%)	
3.2 億円 (12%)	
2.7 億円 (10%)	
2.7 億円 (10%)	
1.5 億円 (6%)	
1.3 億円 (5%)	他

める構成比
産業を抽出

1647年と比べた人口の増減





人口を増加させる
+
市を大きく
変える力がある！



○大学に設置予定の学部

〈酒造り学科〉

全国有数の酒処！酒作りを学ぼう

〈農業学科〉

湯沢と言ったら農業！農家を育成

〈生物学科〉

熊問題など生物に関する問題の解決を目指す

〈地方創生学科〉

課題が多い湯沢の町おこしを学び行う。湯沢の活性化を目指す

〈伝統工芸学科〉

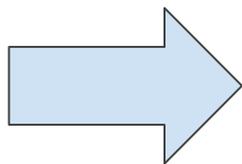
川連漆器やまなぐ凧など歴史が詰まっている湯沢！後継者育成

①酒造り学科

全国有数の酒処！酒造りについて学びます。

- ・木村酒造
- ・両関酒造
- ・美酒爛漫

などたくさんの企業



工場見学や共同開発などを通して、お酒について学ぶ

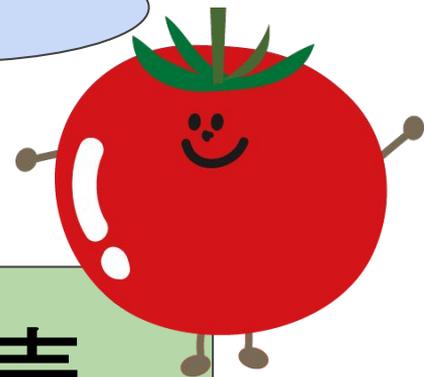
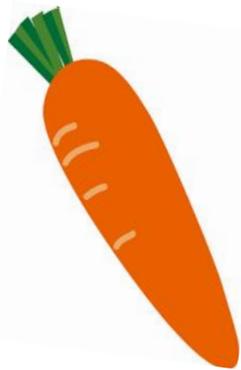


②農業学科

湯沢と言ったら農業！農家を育成

農家の方々に教えてもらう

田んぼや畑で栽培→販売

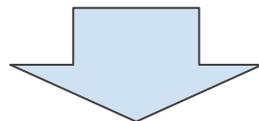


③生物学科

生物に関わる仕事をしたい人を育成



クマや猿、鹿などが市街地に出没し問題に...



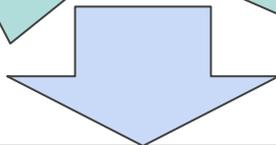
動物の生態などを学びながら、このような問題にも取り組み地域貢献する

④地方創生学科



公務員など地域のためにはたらきたい人を育成

多くの課題がある湯沢市



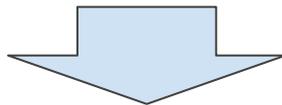
湯沢の活性化を目指す

⑤伝統工芸学科

職人技を学び、問題となっている伝統工芸品職人の後継者を育成



後継者不足が深刻で伝統工芸品の存続が問題となっている



職人さんから技術を学び、後継者を育成し、
伝統工芸品を継承していく



財源はどうする？

1 市役所などの仕事の効率化を図る→人件費削減

(解雇された人は大学の清掃員などとして雇用)

2 クラウドファンディング

(返礼品としてお米など)



財源はどうする？

3 国や県からの支援金

4 交渉→お互いにメリットのある形で取引

(例 投資してもらおう⇒卒業生を投資してくれた会社で働かせる)

立地が悪い点について

大学設立



周辺地域が活性化



コンビニなど商業施設ができる



市、県内全土が活性化



結論

**大胆かつ効果的
なアクション！**